



2024年3月期（第48期） 中間決算説明資料 （ FY2024,Q2 | 48th Business Year）

2023年11月21日
株式会社フォーカスシステムズ
（証券コード：4662）

- ① 中間決算サマリー P. 3 ~
- ② セグメント別概況 P. 5 ~
- ③ 財務状況等 P. 9 ~
- ④ 通期達成に向けた対策と業績・配当予想 P.12~

売上高は過去最高を更新、各利益は前年同四半期との比較で大幅な減益

(単位：百万円)

FY2023

FY2024

前年同四半期比

	FY2023				FY2024		前年同四半期比	
	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	通期 実績	Q1 実績	Q2 実績	増減額	増減率
売上高	6,943	14,238	21,415	29,124	7,310	15,166	927	6.5%
営業利益	489	1,103	1,585	1,894	236	651	▲452	▲41.0%
経常利益	523	1,165	1,654	1,911	217	644	▲520	▲44.7%
四半期(当期) 純利益	354	797	1,126	1,390	148	439	▲358	▲44.9%

通期計画に対し、売上高50%超、各利益30%台と低調

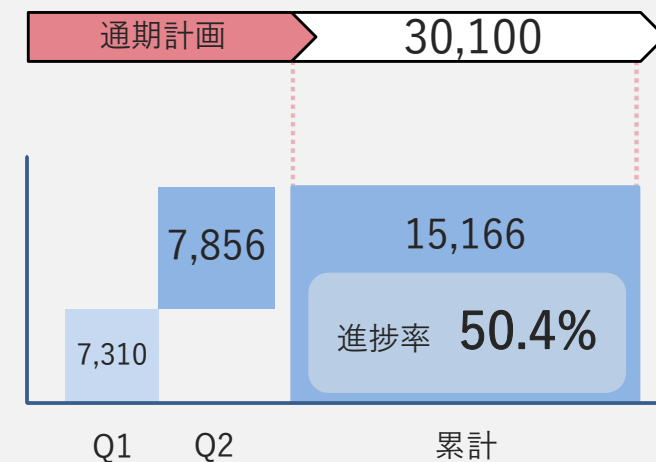
第2四半期は、第1四半期の減益幅を圧縮するも、楽観できない状況

▶ 主な要因

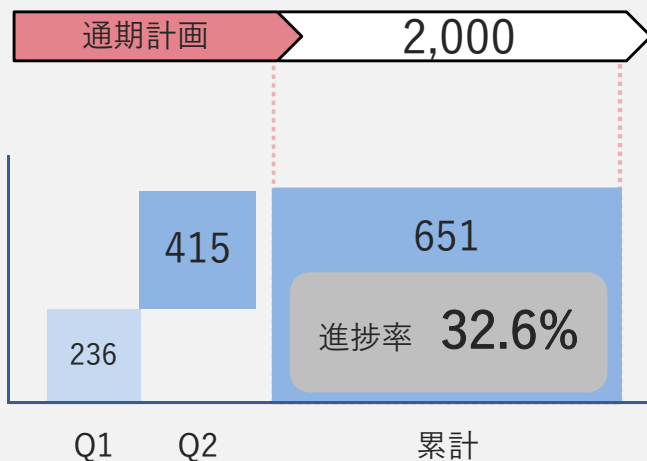
- ・ 当第1四半期に生じた不採算案件
- ・ 前年好調を受けての大幅な反動減

(単位：百万円)

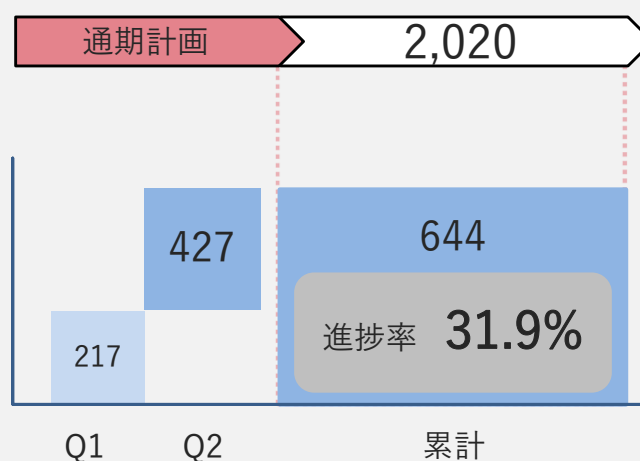
売上高



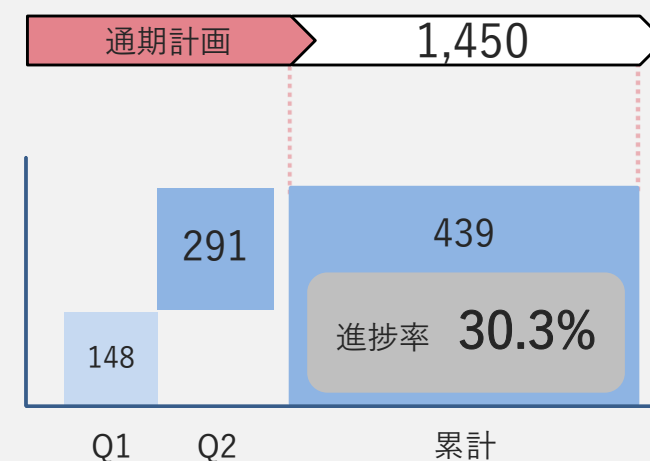
営業利益



経常利益



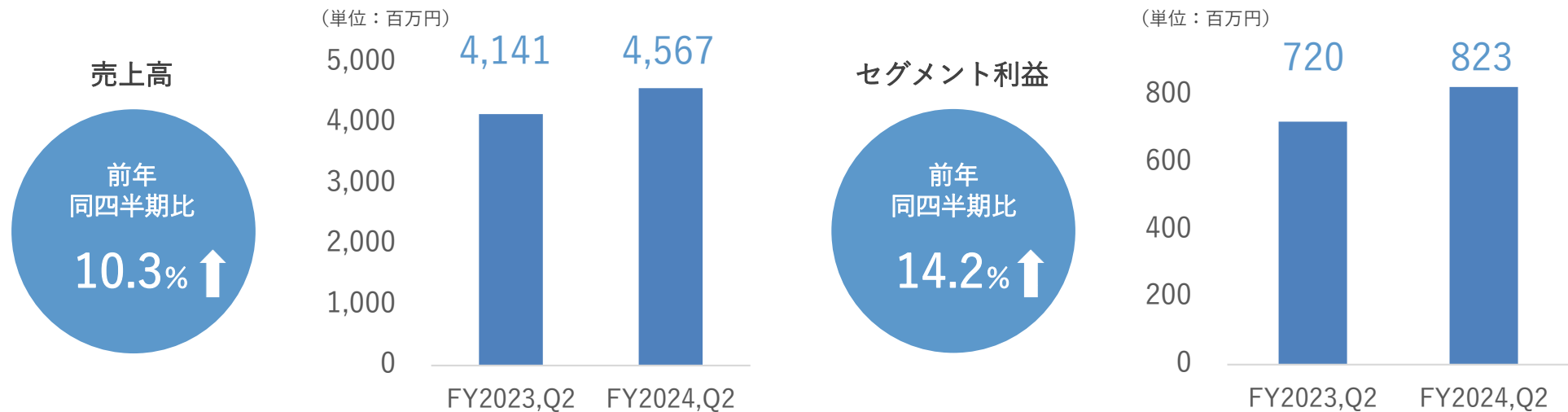
四半期（当期）純利益



公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼動後の運用・保守

セグメント全体で新規・既存を手堅くこなし、売上・利益共に業績を牽引

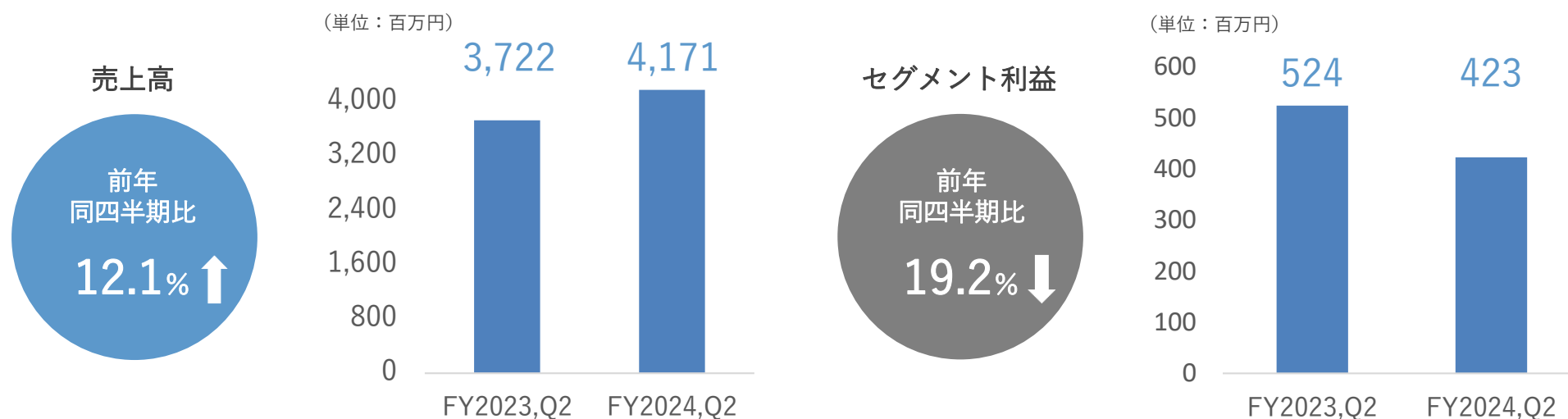


- 自動車・マイナンバー・中央省庁のキャッシュレス化等、既存案件が堅調に推移。
- NTTドコモ関連等、新規案件が収益機会を創出。

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

売上高は好調も、前年同四半期の反動減の吸収に至らず

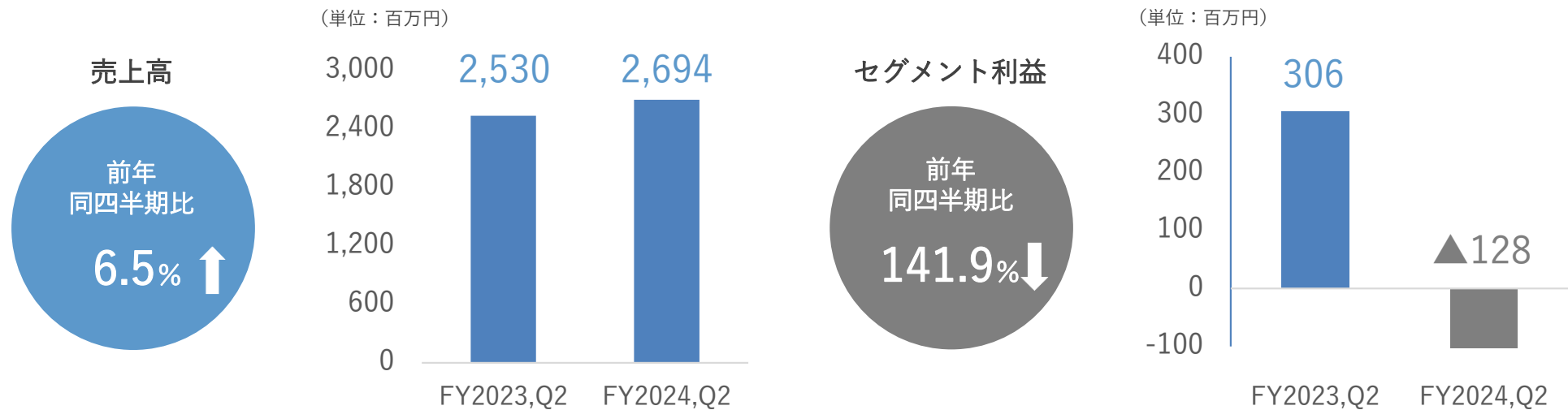


- インフラ事業の好調が収益改善に貢献。
- E R P 事業において一次請負増えるも、前年同四半期に牽引した案件収益率の高さには至らず。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

売上高は拡大するも、不採算案件に伴う労務費・外注費等の増大により大幅減益

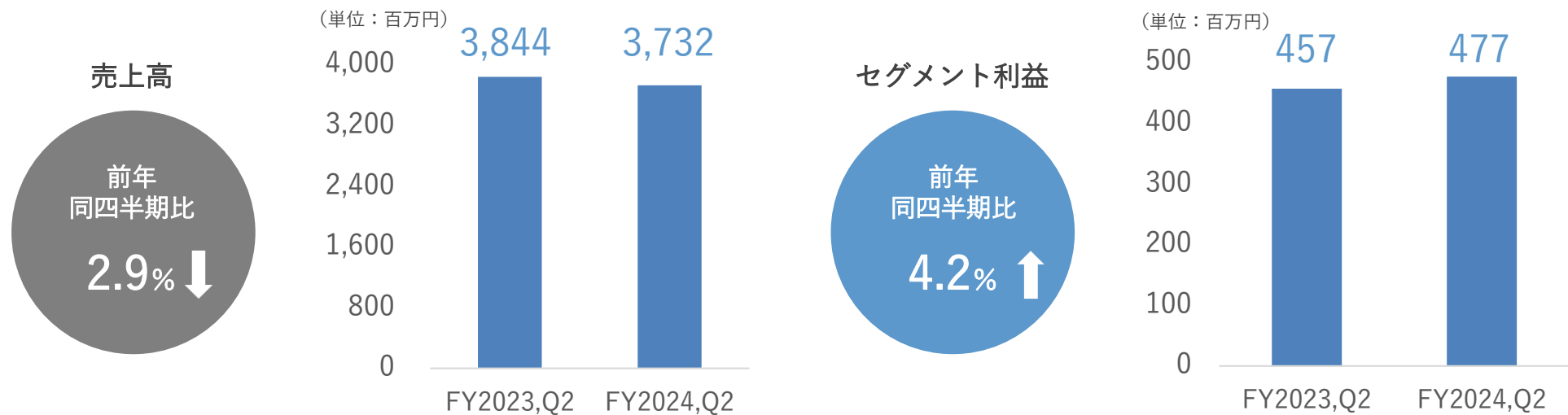


- 実際原価のモニタリングに基づいてプロジェクトを見直し。今期サービス開始。
- ローコード開発案件等セグメント内の他の事業が、引続き収益機会を拡大。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

前年同四半期比較での反動減の影響残るも、セグメント全体で増益確保



- インフラ事業がQ1より継続して好調を維持。
- メインフレーム事業の下支え、統合業務プラットフォームの業務拡大が利益の押上げに貢献。

(単位：百万円)

	前事業年度	当第2四半期末
(資産の部)		
流動資産	11,875	11,939
固定資産	8,541	7,934
有形固定資産	3,649	3,614
無形固定資産	159	138
投資その他の資産	4,731	4,180
資産合計	20,417	19,873
(負債の部)		
流動負債	5,841	5,816
固定負債	1,761	1,636
負債合計	7,603	7,452
(純資産の部)		
株主資本	10,867	10,867
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,167	2,177
利益剰余金	6,140	6,126
自己株式	△346	△342
評価・換算差額等	1,946	1,552
純資産合計	12,814	12,420
負債純資産合計	20,417	19,873

前事業年度末と比較し543百万円減少

(主な増加理由)

- ・現金及び預金の増加 71百万円
- ・仕掛品の増加 90百万円

(主な減少理由)

- ・投資有価証券の減少 571百万円

前事業年度末と比較し150百万円減少

(主な増加理由)

- ・短期借入金の増加 179百万円
- ・賞与引当金の増加 257百万円

(主な減少理由)

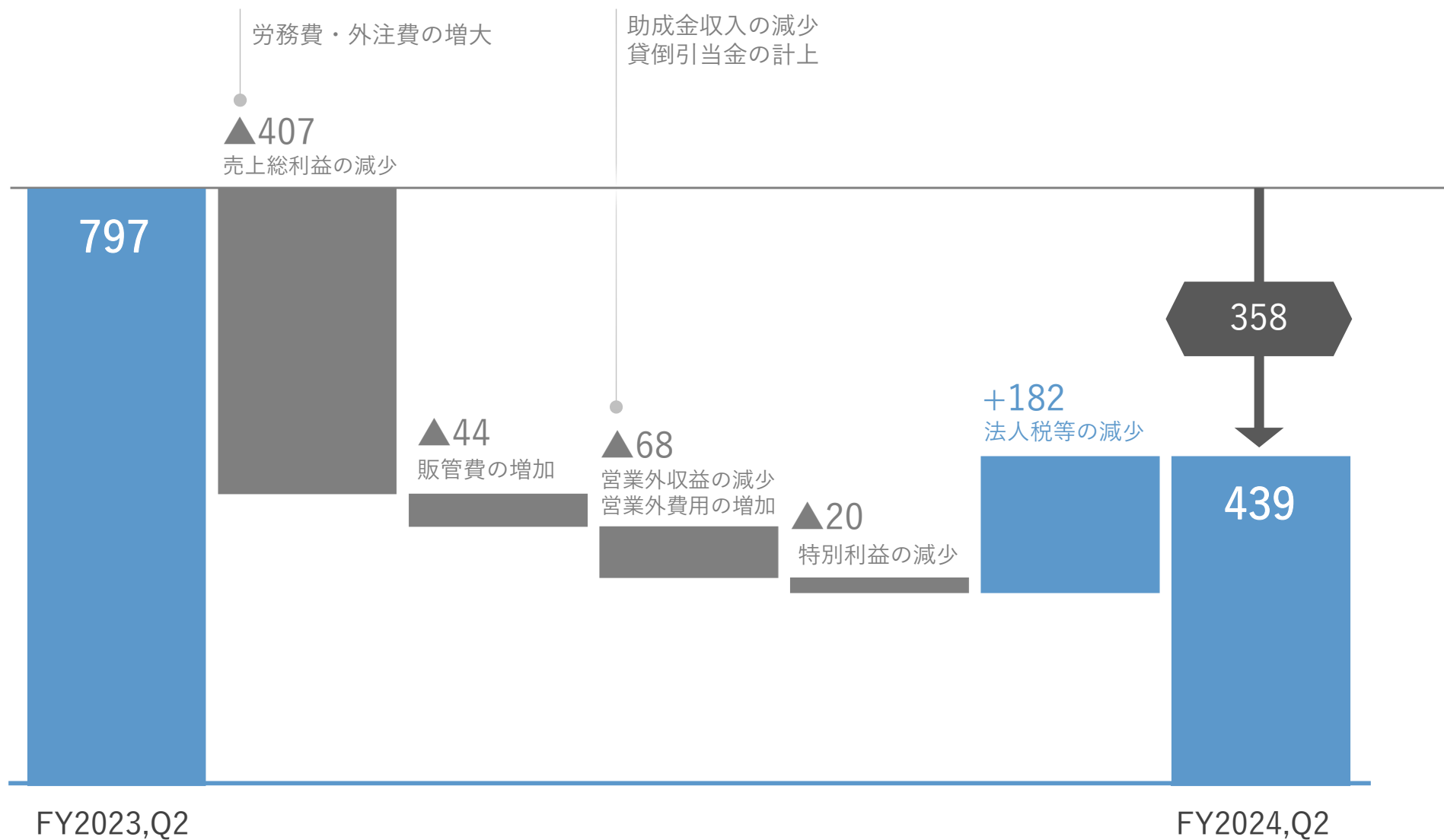
- ・買掛金の減少 448百万円

前事業年度末と比較し393百万円減少

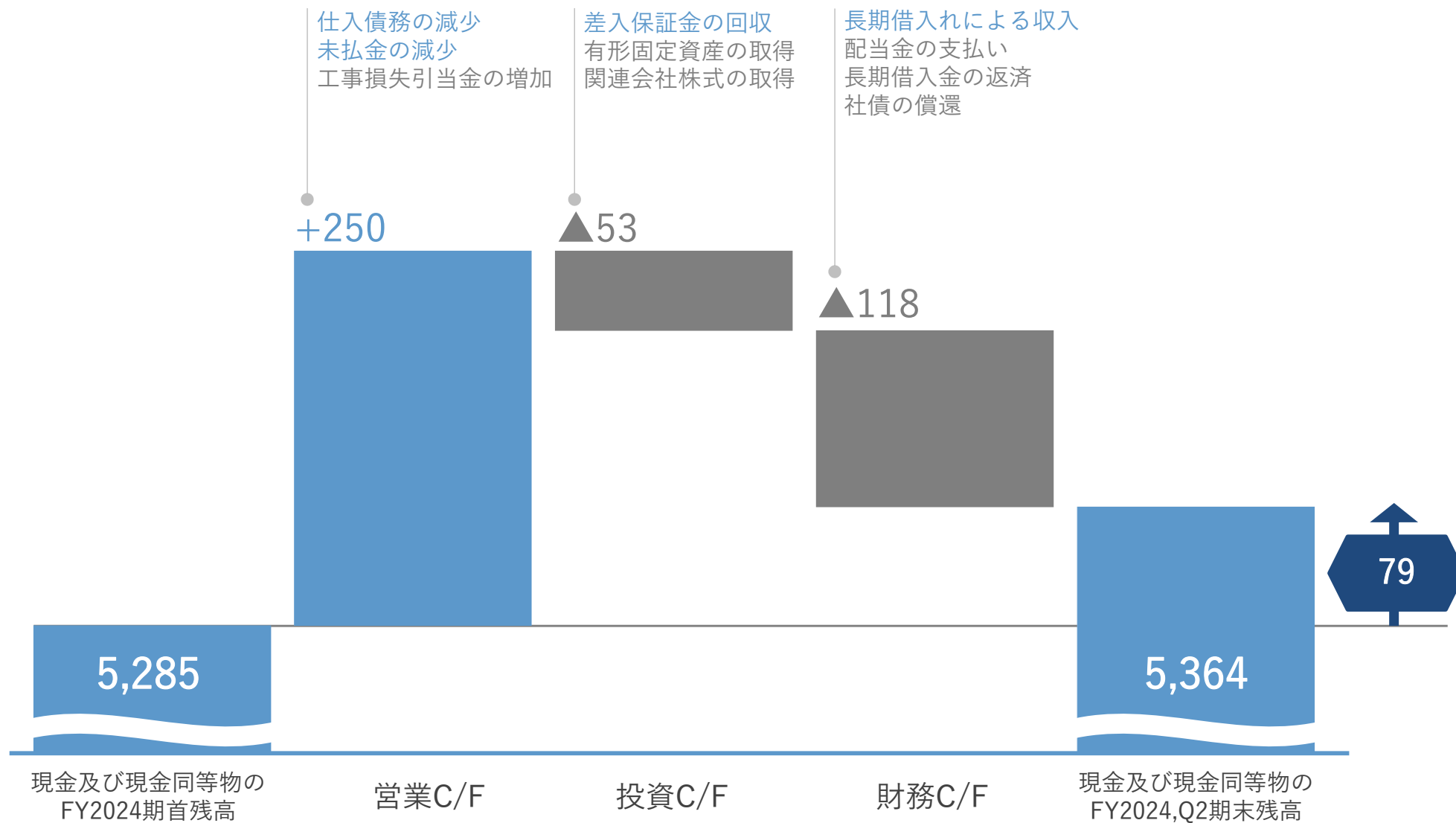
(主な減少理由)

- ・その他有価証券評価差額金 393百万円

(単位：百万円)



(単位：百万円)



▶ 当該不採算案件

- ・ 追加コストを生じさせない、品質管理と納期徹底

▶ 当社全体

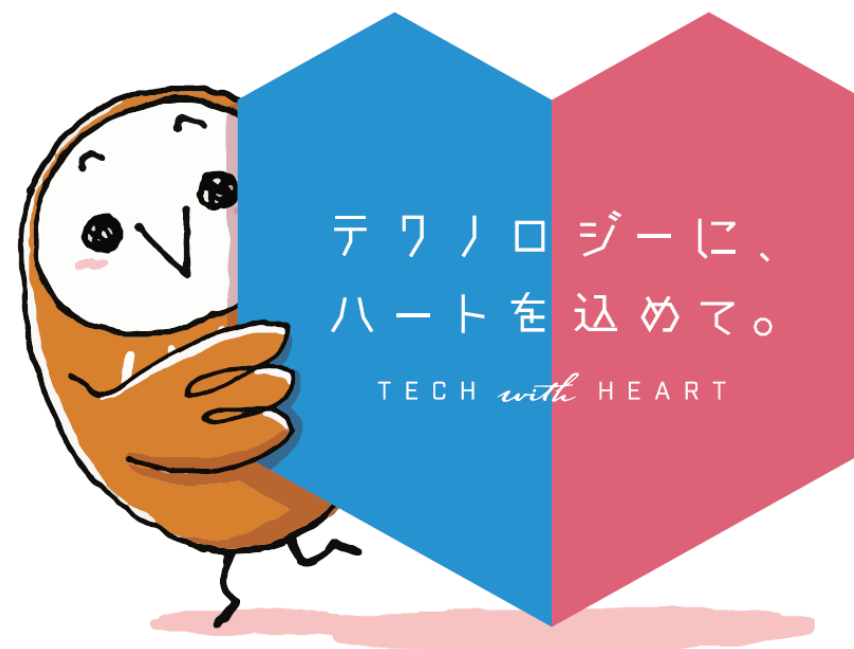
- ・ 比較的低リスクで収益性の高い仕事を優先
- ・ 教育機会等を一部先送りして、収益獲得に注力
- ・ 他の既存案件の安定運営・管理徹底

- 不採算案件以外の事業は好調であり、業績予想は維持。中間配当は計画通り実施。
- 1株当たりの年間配当金は、38.00円（中間配当6.00円＋期末配当32.00円）の見込み。

		FY2023 実績	FY2024 予想	増減率
売上高	(百万円)	29,124	30,100	3.4%
営業利益	(百万円)	1,894	2,000	5.5%
経常利益	(百万円)	1,911	2,020	5.7%
当期純利益	(百万円)	1,390	1,450	4.3%

		FY2023 実績		FY2024 予想	
1株当たり当期純利益	(円)	92.18		96.01	
1株当たり配当金	(円)	35.00		38.00	
		(内訳)	中間配当 5.00 期末配当 30.00	(内訳)	中間配当 6.00 期末配当 32.00
配当性向	(%)	38.0		39.6	

今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入としております。

本資料は、2023年11月10日現在で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2023年11月10日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従いまして、当社として、その確実性を保証するものではありません。